

098 神殿税を納める

マタイによる福音書 17 : 24~27

24 一行がカファルナウムに来たとき、

(過越祭の時であった。) 神殿税を集める者たちがペトロのところに来て、「あなたたちの先生は**神殿税**を納めないのか」と言った。

→ 神殿税 (人頭税) は律法によって義務付けられていた (出エジプト記 30 : 11~16、38 : 26)。(富む者も貧しい者も、過越祭の時に納める) 税は (毎年) 半シェケルで、労働者二日分の平均的賃金に相当した。また、神殿税は幕屋と礼拝を維持する財源で災いから守られる「贖い金」であり、世界中の離散の地にいるユダヤ人も含めての民族的連帯 (絆) のしるしでもあった。
→ 1 シェケル = 4 デナリオン (ローマ銀貨) = 4 ドラクメ (ギリシア通貨)

→ ネヘミヤ記 10 : 33

わたしたちは、神殿での奉仕のために年に三分の一シェケルの納入を義務として負う (→ 旧約時代、バビロン捕囚からの帰還後は神殿税が減額されている)。

25 (神殿税を納めていなかった) ペトロは、「(もちろん) **納めます**」と言った。

そして (ペトロが自分の) 家に入ると、イエスの方から言いだされた。

「**シモン、あなたはどうか。地上の王は、税や貢ぎ物をだれから取り立てるのか。自分の子供たちからか、それともほかの人々からか。**」

→ (リビング・バイブル) 「もちろん、納めますとも。」 こう答えると、ペテロは急いで家に入り、このことを話そうとしました。ところがまだ話を切り出さないうちに、イエスのほうからお尋ねになりました。

「ペテロ。あなたはどのように思いますか。世の王たちは、だれから税を取り立てるのでしょうか。自分の子どもたちからですか、それとも、ほかの人たちからですか。」

26 ペトロが「**ほかの人々からです**」と答えると、

イエスは言われた。

「**では、子供たちは納めなくてよいわけだ。27 しかし、彼らをつまずかせないようにしよう。湖に行って釣りをしなさい。最初に釣れた魚を取って口を開けると、銀貨 (→ 回復訳、新改訳 : スタテル) が一枚見つかるはずだ。それを取って、わたしとあなたの分 (→ 二人分 = 銀貨一枚) として納めなさい。**」 (ペトロはイエスが言われたように湖に行った。)

★ 正論がすべてではない。どうでもよいこと、些細なことで論争をしない。★

【参考】 聖ペテロの魚 (St. Peter's fish)

クロスズメダイの一種、「ティラピア (Tilapia)」、ガリラヤ湖の名物。ティラピアの肉質は臭みもなく非常に美味で、各国で食用として使用されている。野生個体が漁獲される他、養殖も盛んである。川魚だが皮も臭みがなく美味である。



NO COPY H. Taniguchi

